



畑の柚子です。鏡餅の上に乗せられて幸せ!

謹んで新春のお慶びを申し上げます

## 新年明けましておめでとうございます



貫禄のあるサンタさんになっちゃった。

サンタさんがいっぱいクリスマスツリー



気温が低かったり、風が冷たかったりで、皆で初詣に出掛けるのが遅くなってしまいましたが、1月9日(月)、やっと、津島神社へお参りに出掛けることができました。「今年も良い年になりますように……。」



利用者さんへのプレゼント

スタッフが一番楽しんでたかもしれませんね



こんな格好したの初めて……(笑)



平成18年、笑った顔・泣いた顔・怒った顔・淋しい顔・楽しい顔を見せ合い、いろんな気持ちをぶつけ合いながら、日々を過ごしていただけるような空間を提供できるよう努力したいと思います。今年も、どうぞよろしくお願いいたします。 職員一同

### ナイス・デイ利用状況(定期利用者数)

月	火	水	木	金	土	日
10名	10名	10名	9名	9名	9名	10名

## 楽しいクリスマス♪

### ケアマネ一年生??

### 第1話

注:このコーナーに掲載される話はスタッフの実話です。

昨年12月9日、自宅ポストに葉書サイズの通知書を見つけた。「やっぱり、だめだったなー。」と思い、葉書を取ろうと手を伸ばした時、ポストの蓋に挟まっているA4サイズの封筒(合格後の実務研修の手引き)が目に入った。おや?おや?…、あっ!! あ~~~~~っ!! 受かったぁ~。

何に受かったのかといえば、(お題から“ピン”とくる方も多いとは思いますが)介護保険を利用するには欠かせない存在である、介護支援専門員(通称ケアマネ)の資格試験に受かったのです。

私自身、葉書だけを見つけた際に「やっぱり、……」と最初からあきらめていただけに、周囲に報告したら「はぁ……?なにに受かったの?」と知らん顔される始末。「ケアマネの試験に受かったの!」と再度繰り返したときの驚きようたら、……今思い出しても笑えます。

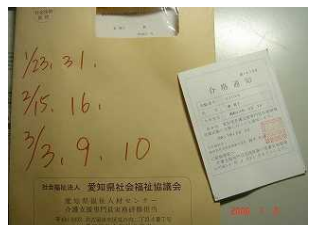
介護保険開始前の1回目の試験から、今回の試験で8回目。恥ずかしながら、今までに何回受けたことやら……本当にもう、何回落ちたことやら。

3回目に落ちたときだっけ……、「もう、いいや。」と、周囲の人達からの「来年また頑張りなよ!」やら「なんで、あんたが取れないの(受からないの)。恥ずかしくないの?!」という声も聞かず、「ケアマネは、やりたい人が取ればいいのよ。私、毎日の業務で手一杯だし、やりたくないもん。ケアマネは同じ事業所に居ない方がいいよ。その方が、ケアマネの苦労を知らずに堂々と色んな意見が言えるから。」と開き直った。

そこまで、気がなかった私。翌年の試験は、周囲になんやかんやと言われていても、試験日近くになってから「あっ、ケアマネの試験……。」と気付いたり、その翌年なんかは、願書を持ってきてもらったにもかかわらず、気付くと提出期限が過ぎていたり……と、全くもって関心なし。

で、7回目の試験の時に、やはり、「一緒に受けるんだったら……。」という人がいて、再度、受験したのをきっかけに、去年の8回目も引き続き一緒に受けました。今回のケアマネ試験に合格した後、なんだか肩の荷がどど~っとおりたような気がしてその日の午後から体調を崩し、しばらく寝込んだ次第です。

そのとき、今まで6年間、自分自身に無言のプレッシャーをかけていたのだと気付きました。今月末から実務研修が始まります。ケアマネに向けての第一歩です。



## ナイスな手作業

~ 手作りサンタ ~

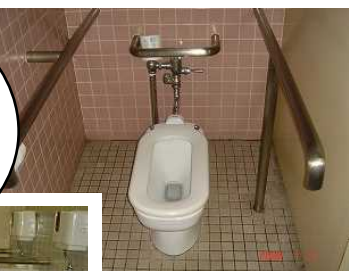
クリスマス前、ツリーの飾りが寂しかったのもあり、利用者さんの顔写真を利用して、サンタ人形を作りました。とってもかわいかったですよ



### ~ ここのトイレ、あそこのトイレ ~

「出掛けようと思うけど、どういうトイレがあるのか心配でな……。」という利用者さんとの会話からヒントを得て、このコーナーには、この地域にある施設やお店などのトイレを探索し、掲載することになりました。記念すべき第1回目は「津島市役所」です。

男女のトイレともに、洋式1、和式1、障害者用1。男子トイレには、小便用が設置。



これは、男子用トイレです。女子用トイレにはベビーベッドが設置。障害者用は、一番奥、オートウォーカーの仕切りになっています。

### 編集後記

新年あけましておめでとうございます。今年も毎月楽しみにしていただけるようなS・O・S通信を作成できるよう努力したいと考えております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、新年早々に紙面の尾張版に掲載された、堀田新五郎商店の記事。私自身が和太鼓を習いたいなぁ~と思っていたから目を引いたのかもしれませんが、……。その記事の中に「五官で覚えればずっと忘れない。」という言葉がありました。思わず、「そうそう!!」と納得した時点で、頭の中は仕事の内容に切り替わってしまったのですが、この言葉は介護技術・知識の習得にも通じるところがあると思いませんか?

五官(五感)をフル活用して覚える。言葉での説明が必要なことは必ず伝達するけれど、後は五官(五感)をフル活用して覚える気になっていなければ、いえいえ、五官(五感)フル活用して利用者さんと関わらなければ、その人にとって心地いい介助方法なんて見出せないはず。

う~ん、心して業務に励みたいと思います。(H)